平成21年 4月 1日						2025.5.30	現在	
指定講座番号(15桁) 講座の 創設 年月 日 一般教育訓練経行金対象 講座の 創設 年月 日 一般教育訓練経行金対象 講座の 創設 年月 日 一般教育訓練経行金対象 第	講座の名称		介護福祉士実務	務者研修通信課 程	配(一般者)			
講座の割設年月日	実 施 方 法	① 通学 (昼間 ·	夜間 ・ 土日) ② 通信	スクラリン	グ(回数	10 回)	
講座の指定期間	指定講座番号(15桁)	1520114		1410012		_ O		
割 練 期間 6ヶ月 総 割 練 時 間 472時 1. 教 育 訓 練 目 標 ①取得目標とする資格の名称、目標レベル 介護福祉士実務者研修 介護福祉士国家試験受験資格 長岡介護福祉専門学校あゆみ 3.当該資格等を取得するための要件または受験資格 指定科目を歴修し、各科目に合格した者 4. 当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職		講座の指定期間	年の講 座実績	入講者数(累積	5)(10人)	修了者数	女 (9人)	
1. 教育訓練目標 ①取得目標とする資格の名称、目標レベル ②当該資格等を取得するための要件または受験資格 長岡介護福祉事門学校あゆみ ③当該資格等を取得するための要件または受験資格 第 指定科目を履修し、各科目に合格した者 第 当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職権・職務及び留得された技能・知識が活用されておい。 金素界と活用状況 2. 教育訓練の内容 数科 (カリキュラム) 時間 人間と社会の領域 人間の専厳と自立 人間と社会の領域 社会の理解I 5時間 人間と社会の領域 社会の理解I 80時間 介護の領域 基本介護I 20時間 介護の領域 基本介護I 20時間 介護の領域 基本介護I 20時間 介護の領域 上活支援技術I 20時間 介護の領域 中活支援技術I 20時間 介護の領域 中活支援技術I 30時間 介護の領域 中活支援技術I 30時間 介護の領域 小護過程I 20時間 介護の領域 小意ニンケーション技術 介護の領域 中活支援技術I 30時間 介護の領域 中活支援技術I 20時間 介護の領域 かた過程II 20時間 介護の領域 かたび長が内が表の領域 発達と老化の理解I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解I 10時間 こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ の領域 こころとからだのしくみ の領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 80時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしくみの領域 ころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしてみの領域 ころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしてみの領域 ころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしくみの領域 に表の領域 P等の理解I 10時間 こころとからだのしくみの領域 ころとからだのしくみ II 89時間 こころとからだのしくみの領域 による略例 第7巻 対域員等による略例 現ましている条件など) 第3巻 介護職員等による略列 現ましている条件など) 第3巻 介護職員等による略列 現ましている条件など) 第3巻 介護職員等による略列 現ましている条件など) 第3巻 介護職員等による略列 第4巻 ころとからだのしくみの領域 第4巻 生活支援が係 第4巻 Pが表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表		令和8年3月31日	まで					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		6ヶ月		総訓練	時間		472時間	
②①に係る資格・試験等の実施機関名称 ③当該資格等を取得するための要件または受験資格 等 ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職程・職務及び習得された技能・知識が活用されておい る業界と活用状況 ② 教育訓練の内容 数科 (カリキュラム) 時間 使用教材名 人間と社会の領域 人間の尊談と自立 5時間 第1巻 人間の尊談と自立 5時間 第1巻 人間の尊談と自立 7社会の領域 社会の理解 I 10時間 第2巻 介護の選集 1・Ⅱ 20時間 第3巻 コミュニケーション技術 20時間 第3巻 コミュニケーション技術 20時間 第4巻 生活支援技術 I 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1. 教育訓練目標							
③当該資格等を取得するための要件または受験資格 等 ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職権・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況 2. 教育訓練の内容	①取得目標とする資格の	名称、目標レベル	介護福祉	士実務者研修	介護福祉士	国家試験	受験資格	
等	②①に係る資格・試験等の)実施機関名称	長岡介護	福祉専門学校あり	ゆみ			
福・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界 介護業務では必要な資格 名業界と活用状況 2. 教育訓練の内容 教科 (カリキュラム) 時間 使用教材名 人間と社会の領域 社会の理解 I 5時間 人間と社会の領域 社会の理解 I 10時間 介護の領域 基本介護 I 10時間 介護の領域 基本介護 I 20時間 介護の領域 基本介護 I 20時間 介護の領域 基本介護 I 20時間 介護の領域 基本の護 I 20時間 介護の領域 本活支援技術 I 20時間 介護の領域 小護過程 I 20時間 介護の領域 小護過程 I 20時間 介護の領域 介護過程 I 20時間 定ころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 に表とからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 に I 20時間 にころとからだのしくなのは I 20時間 こころとからだのしくみの領域 I 20時間 こころとからだのしてみの領域 I 20時間 こころとからだのしてみの領域 I 20時間 にころとからだのしてみの領域 I 20時間 にころとからだのしてみの領域 I 20時間 にころとからだのしてみの領域 I 20時間		ための要件または受験す	資格 指定科目	を履修し、各科目	に合格した	者		
教科 (カリキュラム) 時間 使用教材名 人間と社会の領域 人間の尊厳と自立 5時間 第1巻 人間の尊厳と自立 /社会の理解 I 第1巻 人間の尊厳と自立 /社会の理解 I・II 人間と社会の領域 社会の理解 I 80時間 /社会の理解 I・II 10時間 /社会の理解 I・II 第2巻 介護の基本 I・II 介護の領域 基本介護 I 20時間 第2巻 介護の基本 I・II 第3巻 コミュニケーション技術 / 20時間 第3巻 コミュニケーション技術 介護の領域 生活支援技術 I・I 20時間 介護の領域 生活支援技術 I・I 20時間 介護の領域 介護過程 I 20時間 元益とからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 ころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 10時間 ころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 ころとからだのしくみの領域 窓知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 ごころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第7巻 障害の理解 I・II 第8巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第7巻 障害の理解 I・II 第8巻 こころとからだのしくみ I 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 第5巻 かった アスクーリング含む) 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 第5巻 の内容及びその水準 特に問わない	種・職務及び習得された技		+、、 汀護悀阯					
人間と社会の領域 社会の理解 I 5時間	2. 教育訓練の内容							
人間と社会の領域 社会の理解 I 5時間					包	用教材	名	
人間と社会の領域 社会の理解					□ □ 第1券 ↓	問の酋厳人	·白立	
 介護の領域 基本介護 I 20時間 第2巻 介護の基本 I・Ⅱ 介護の領域 基本介護 I 20時間 第3巻 コミュニケーション技術 20時間 第3巻 コミュニケーション技術 20時間 第4巻 生活支援技術 I 20時間 介護の領域 生活支援技術 I 20時間 第4巻 生活支援技術 I・I 20時間 介護の領域 介護過程 I 20時間 介護の領域 介護過程 I 20時間 第5巻 介護過程 I・Ⅲ 第5巻 介護過程 I・Ⅲ 第5巻 介護過程 I・Ⅲ 介護の領域 介護過程 I 20時間 25時間 第6巻 発達と老化の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 ごころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第7巻 障害の理解 I・Ⅲ 第8巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第7巻 障害の理解 I・Ⅲ 第8巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 60時間 第9巻 介護職員等による喀奶吸引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀奶の関・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀奶の関・経験等の内容及びその水準 実務経験は問わない 特に問わない 特に関わない 第9巻 介護 対域 所述 できる は 対域 がり がり		会の理解 I		5時間				
 介護の領域 基本介護Ⅱ 介護の領域 コミュニケーション技術 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 介護過程Ⅱ 介護の領域 介護過程Ⅱ 介護の領域 介護過程Ⅲ 介護の領域 介護過程Ⅲ(スクーリング) こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 認知症の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 認知症の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ 目 医療的ケア(スクーリング含む) 第9巻 介護職員等による喀疹吸引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀疹吸引・経管栄養研修テキスト ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 		会の理解Ⅱ						
 介護の領域 基本介護Ⅱ 介護の領域 コミュニケーション技術 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 生活支援技術Ⅱ 介護の領域 介護過程Ⅱ 介護の領域 介護過程Ⅲ 介護の領域 介護過程Ⅲ(スクーリング) こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 認知症の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 認知症の理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみの領域 できの理解Ⅱ こころとからだのしくみの領域 にころとからだのしくみ I こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 医療的ケア(スクーリング含む) 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 	介護の領域 基本介護	I		10時間) 第2券 介	・誰の其本:	ι - π	
 介護の領域 生活支援技術 I 20時間	介護の領域 基本介護	П		20時間	NIE N	及び至行		
 介護の領域 生活支援技術 I	介護の領域 コミュニケ	ーション技術		20時間	第3巻 コ	ミュニケーシ	ション技術	
↑護の領域 生活支援技術 I 20時間	介護の領域 生活支援	技術I		20時間	笠/光/	土汗支坪は	±45; т. π	
 介護の領域 介護過程Ⅱ	介護の領域 生活支援	技術Ⅱ		30時間) *** -	工/口义]及]。	Χ [11] Ι ΙΙ	
 介護の領域 介護過程Ⅲ(スクーリング) こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 20時間 コープ 第7巻 障害の理解 I 10時間 コープ 第7巻 障害の理解 I 20時間 コープ 第8巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 コープ 第8巻 こころとからだのしくみの領域 コープ 20時間 第8巻 コープ 20時間 第9巻 介護職員等による喀疹 吸引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀疹 収引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀疹 収引・経管栄養研修テキスト 第9巻 介護職員等による喀疹 収引・経管栄養研修テキスト またいの実施を受講するために必要とされている条件など) ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない 特に問わない 	介護の領域 介護過程	Ι		20時間				
こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 10時間 こころとからだのしくみの領域 ご知症の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 20時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 60時間 定療的ケア(スクーリング含む) 72時間 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	介護の領域 介護過程	П		25時間	第5巻 介	·護過程 I•	• II • III	
こころとからだのしくみの領域 発達と老化の理解 I 20時間 第6巻 発達と老化の理解 I・I こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 I 20時間 「認知症の理解 I・I こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 10時間 第7巻 障害の理解 I・I こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第8巻 こころとからだのしくみの信域 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 60時間 第8巻 こころとからだのしくみの信域 医療的ケア(スクーリング含む) 72時間 第9巻 介護職員等による喀卵吸引・経管栄養研修テキスト 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) 実務経験は問わない ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	介護の領域 介護過程	Ⅲ(スクーリング)		45時間				
こころとからだのしくみの領域 認知症の理解 10時間 20時間 20時間 20時間 20時間 20時間 20時間 20時間 20時間 第7巻 障害の理解 1	こころとからだのしくみの	領域 発達と老化の理	 里解 I	10時間				
こころとからだのしくみの領域 認知症の理解	こころとからだのしくみの	領域 発達と老化の理	里解 Ⅱ	20時間	第6巻 発	達と老化の)理解Ⅰ・Ⅱ	
こころとからだのしくみの領域 障害の理解 I 10時間 第7巻 障害の理解 I・Ⅱ こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ I 20時間 第8巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ II 60時間 医療的ケア(スクーリング含む) 72時間 第9巻 介護職員等による喀釈吸引・経管栄養研修テキスト 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	こころとからだのしくみの	領域 認知症の理解:	I	10時間		/認知症の	理解Ⅰ・Ⅱ	
こころとからだのしくみの領域 障害の理解 図時間 20時間 第7巻 障害の理解 1・II 20時間 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ 図時間 1・II 第8巻 こころとからだのしくみ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	こころとからだのしくみの	領域 認知症の理解]	I	20時間				
こころとからだのしくみの領域 障害の理解 20時間 20時間 20時間 20時間 38巻 こころとからだのしくみの領域 こころとからだのしくみ 60時間 第9巻 介護職員等による喀那 で見いる ではる で見いる で	こころとからだのしくみの	領域 障害の理解 I		10時間	ᄷᄀᄱ	宇の甲却:	τ - π	
こころとからだのしくみの領域こころとからだのしくみ II60時間第8巻 こころとからだのしくみ II医療的ケア(スクーリング含む)72時間第9巻 介護職員等による喀敦吸引・経管栄養研修テキスト3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)①受講するに当たって必要な実務経験等実務経験は問わない②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準特に問わない	こころとからだのしくみの	領域 障害の理解Ⅱ		20時間	弗/苍 障 	1音の埋解 .	г.п	
医療的ケア(スクーリング含む) 72時間 第9巻 介護職員等による喀那吸引・経管栄養研修テキスト 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) 1受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない 実務経験は問わない 特に問わない 特に問わない					・ 第8巻 こ	ころとからた	ごのしくみ I	
医療的ケア(スクーリング含む) "Q引・経管栄養研修テキスト" 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など) ①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	ここつこからにのしくかの	限場 ここつとかりに0	ソレノの Ⅱ	00円[日]	## ^ ¥ ^	-# mh = #+.	- L 7 nb +	
①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・ 技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	医療的ケア(スクーリング	·含む) 		72時間				
①受講するに当たって必要な実務経験等 実務経験は問わない ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・ 技能・知識等の内容及びその水準 特に問わない	3. 受講者となるたと	めの要件(この講座を	を受講するために	 - 必要とされている	 			
技能・知識等の内容及びその水準				<u></u>	·			
	<u> </u>		特に問わない					
	③その他							

4. 教育訓練の受講の	の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況							ļ
① 前年度内の受講修	5了者数	9	人				
② ①のうち目標資格の	の受験者数	9	人	受験率(②/	1)	100.0	%
③ ②のうち合格者数		9	人	合格率(③/	2)	100.0	%
④ 上記②・③の回答	者数	9	人		=		
(2)受講修了者による	講座の評価等						
① 回答者総数				9	人		
	1 正社員			6	人	7	
② 受講開始時の就	2 非正社員、派遣社員			3	人	(2)A: 釈	【業者計
業状況等	3 その他の就業(自営業等)			0	人]	9人
	4 非就業			0	人	②B:非勍	尤業者計
	1 受講開始時の就業先と現在の就業先	 :は同じ		9	人	③の回答数:	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自	営業等含む)は異なる(!	転職)	0	人	※②Aと同数(れ以下)	
住の帆未兀の友 に	3 受講開始時は就業していたが、現在に	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない					
	1 正社員			6	人	j	
④ 受講後の就業形	2 非正社員、派遣社員			3	人	(4)A: 叔	忧業者計
態	3 その他の就業(自営業等)			0	人]	9人
	4 非就業者			0	人	L ④B∶非勍	/ 業者計
	1 3割以上増加した		-	0	人	٦	
ı	2 1割以上3割未満増加した		-	0	人		l
	3 1割未満増加した	-		0	人	⑤の回答数	
⑤ 受講後の賃金変	4 変わらない					※④Aと同数 れ以下)	
化	5 1割未満減少した						1
	6 1割以上3割未満減少した			0			1
	7 3割以上減少した			0	人		9人
				6	人	1	
_	2 配置転換等により希望の業務に従事						
-	3 社内外の評価が高まる						
	4 早期に転職・再就職できる						ᅔᄴᄼᆉ
⑥ 講座の受講の効	5 希望の職種・業界に転職・再就職でき					⑥の回答 -	5 数 百 百 1
果	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職		\longrightarrow	4			
	7 趣味・教養に役立つ	100.0		1	人		
	8 その他の効果			2	人		
	9 特に効果はない						18人
	1 受講中又は受講修了後3か月以内に			0	人人	1	
⑦ 受講開始時に就	2 受講修了後3~6か月以内に就職した		\longrightarrow	0	人	⑦の回答数 ※②Bと同数	
業していなかった受	3 受講修了後6~12か月以内に就職した		-+	0	人	れ以下)	
講者の就業状況	4 就職していない			0	人		0人
	4		\longrightarrow	2		ļ <u> </u>	
	- 八変両足 - 2 おおむね満足			5	人	⑧の回答数・	合計
8 講座の全体評価	2 ののもな何た 3 どちらとも言えない			2	<u>人</u>	※①と同数(又	
② 神圧ツエ州町山	4 やや不満			0		以下)	
-	4 つつ不満 5 大いに不満			0	<u></u>		9人
(3)受講者、受給者の	○ へいにか ()	者による教育訓練への	の評価	-	<u>へ</u> [の職者	<u>´</u> 	
	トでのキャリアアップ成果やその事例、在第						
5. 教育訓練の受講	こよる効果の把握及び測定の方法並びにそ	そのレベルを受講者に	対して	明らかにするカ	こめの	具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目 把握・測定方法	標に対する技能・知識のレベル到達度の	タゼロの確認試験:	≕□耳及	・バフカールハ	~ u± 728	□=刃=→旺全/一 ⊢八田	1セナス
尤傑· 测足刀丛		各科目の確認試験: 	未起火	.ひスクー·ラン / 	1 14 1/1年	『応試験 〜みツ」し	歴りつ
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所	芘 呋邯 邯閂.同数	実施場所:長岡介護			み		
<u> </u>	川、吋州、州间「四双	時期:7月中旬~9月	末日の	の間で10日間 			
6. 修了を認定するた	<u>-</u> めの基準並びに修了を認定する時期及び	その方法					
久利日の確認試験に	こおいて60点以上の成績であること及びスク	7→!!ヽ゚゚゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゚゚゚゙゙゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚	ている	z-L			
合科日の確認試験に	- おいて60点以上の放痕であること及び入り	/一リング科目を出席し	, CU16) こと 。			

7. 受講中又は修了後	後における	受講者に対する指導及で	び助言並びに支援の	D方法			
(1)受講中の者に対する習得度·理解度に関する具体 的な助言·指導の方法				式験の結果評価表 別 ジからの質問受付に		修状況表による	る指導
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)			希望者には、電影	舌又はメールにて情	報提供∙就	職アドバイスを	きする。
8. その他の事項							
指 定 教 育 訓 練 実 及 び 代 表 者		社会福祉法人長	岡三古老人福祉会		(代表者名	名:理事長 田	中晋)
住所及び連絡	5 先	長岡市福住1丁目	17番21号		TEL 025	8-31-2620	
施設名称及び施	設長名	長岡介護福祉専	門学校あゆみ		(施設長:	学校長 佐藤	泰主一)
住所及び連絡	· 先	長岡市福住1丁目	7番21号		TEL 025	8-31-2622	
給付制度担当部	署・者	事務局			(担当者:	竹内 敏広)
連絡先		TEL 0258-31-2622	2				
一般教育訓練経費	1. 一般	- 设教育訓練給付金の対象	となる経費 (① +	· ②)		161,000	円
支払い方法	(※割	料 (税込額) 引・還元措置を実施した ・の差引き後の税込額と					_
□□括払						161,000	<u>円</u> 円
②分割払	(※害	料(税 込 額) リ引・還元措置を実施した トの差引き後の税込額と		(うち、必須教	材費		円)
③両方可能	2. 一般	段教育訓練給付金の対象	外となる経費(①				円
	1	副読本代(税込額)				0	円
	2	実習等に伴う交通費・宿	百泊費(税込額)			0	円
	3	施設維持費(税込額)				0	円
	4	その他(法人への寄付金	金、PCの損害保険料	4、情報誌代)(税	込額)	0	円
	3. 総額	頁(1+2)(税込額)				161,000	円

〔特記事項〕

2025.5.30現在

-#	A =#1=1		r (= =m do / = 1 oo * =	# 0 15 - 1-	2023.3.30型	1		
講座の名称	介護福祉士実務者研修通信課程(訪問介護員研修2級修了者)							
実施方法	① 通学 (昼間・ 夜	間・土日		スクーリン) 回)		
指定講座番号(15桁)	1520114		1410042		<u> </u>			
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一年の講						
	HIJE OF THE PARTY	座実績	入講者数(累積	責)(2人)	修了者数	(2人)		
平成21年 4月 1日	令和8年3月31日まで							
訓練期間	6ヶ月		総訓練日	诗 間		432時間		
1. 教育訓練目標								
①取得目標とする資格の	名称、目標レベル	介護福祉	士実務者研修	介護福祉士	国家試験受	験資格		
②①に係る資格・試験等の	の実施機関名称	長岡介護	福祉専門学校あり	ゆみ				
③当該資格等を取得する 等	ための要件または受験資格	指定科目	を履修し、各科目	に合格した	者			
	が必須又は有利となる職 支能・知識が活用されておい		士国家試験の受 介護業務では必					
2. 教育訓練の内容	7	•						
教 科	(カリキュラム)		時間	包	使用 教 材 名	1		
人間と社会の領域 社	会の理解Ⅱ		30時間	第1巻 人間の尊厳と自立 /社会の理解 I・Ⅱ				
介護の領域 コミュニグ	ケーション技術		20時間	第3巻 =	ミュニケーシ	ノヨン技術		
介護の領域 介護過程	呈 Ⅱ		25時間	佐∈米 ∠	人=#` Д ∓ Д т	. п. ш		
介護の領域 介護過程	呈Ⅲ(スクーリング)		45時間	第3巻)	介護過程 I	. п. ш		
こころとからだのしくみの	D領域 発達と老化の理解	I	10時間					
こころとからだのしくみの	D領域 発達と老化の理解	П	20時間	】第6巻 🤌	発達と老化の			
こころとからだのしくみの)領域 認知症の理解 I		10時間	- 理解 I・ /認知症の理解 I・				
こころとからだのしくみの)領域 認知症の理解Ⅱ		20時間					
こころとからだのしくみの)領域 障害の理解 I		10時間	第7 米 『	障害の理解	τ.π		
こころとからだのしくみの)領域 障害の理解Ⅱ		20時間	第/仓	早古の连件	1 - п		
こころとからだのしくみの	D領域 こころとからだのし	くみⅡ	60時間	第8巻 ここ	ころとからだの	しくみ I・II		
こころとからだのしくみの)領域 医療的ケア(スクー	-リング)	72時間		・護職員等に 経管栄養研修			
3. 受講者となるた	めの要件(この講座を受	講するために	-必要とされている	条件など)				
①受講するに当たって必	要な実務経験等実	務経験は問	わない					
②受講者が受講に最低N 技能・知識等の内容及び		に問わない						
③その他								

4. 教育訓練の受講(の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況							
① 前年度内の受講修		2	人				
② ①のうち目標資格	の受験者数	2	人	受験率(2)/	<u>(1)</u>	100.0	%
③ ②のうち合格者数		2	人	合格率(③/	(2)	100.0	%
④ 上記②・③の回答	者数	2	人		_		
(2)受講修了者による	講座の評価等						
① 回答者総数				2	人		
	1 正社員			1	人	②A.#	ᆂᆇᆉ
② 受講開始時の就	2 非正社員、派遣社員			1	人	∠A:17/	t業者計
業状況等	3 その他の就業(自営業等)			0	人] [2人
	4 非就業	4 非就業					忧業者計
#	1 受講開始時の就業先と現在の就業先	は同じ		2	人	③の回答数: ※②Aと同数(
③ 受講開始前と現 在の就業先の変化	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自	営業等含む)は異なる(転	.職)	0	人	水②Aと同数(れ以下)	
12.50 1705 13.50 1.50 1.50	3 受講開始時は就業していたが、現在は	は就業していない		0	人		2人
	1 正社員			1	人		就業者計
④ 受講後の就業形	2 非正社員、派遣社員			1	人	(4)A∶ நு	₹ 行 百 百
態	3 その他の就業(自営業等)			0	人		2人
	4 非就業者					④B:非勍	九業者計
	1 3割以上増加した			0	人		
	2 1割以上3割未満増加した			0	人		
	3 1割未満増加した			0	人	⑤の回答数	
⑤ 受講後の賃金変 化	4 変わらない			2	人	し※④Aと同数	
	5 1割未満減少した	5 1割未満減少した					
		0	人				
	7 3割以上減少した			0	人	,]	2人
	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等	- :)に役立つ		2	人]	
	2 配置転換等により希望の業務に従事		1	人			
	3 社内外の評価が高まる	0	人				
+ + - + - + - + - + - + - + -	4 早期に転職・再就職できる	0	人	⑥の回答	≶数合計		
⑥ 講座の受講の効 果	5 希望の職種・業界に転職・再就職でき	న		0	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職	tできる		1	人		
	7 趣味・教養に役立つ			1	人		
	8 その他の効果			0	人		
	9 特に効果はない			0	人	J <u> </u>	4人
	1 受講中又は受講修了後3か月以内に	就職した		0	人	⑦の回答数	h스計
⑦ 受講開始時に就業していなかった受	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	Ξ		0	人	※②Bと同数	(又はそ
業していなかった受 講者の就業状況	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	te		0	人	れ以下)	
	4 就職していない			0	人		0人
	1 大変満足			0	人	<u> </u>	
	2 おおむね満足			2	人	⑧の回答数:	
⑧ 講座の全体評価	3 どちらとも言えない			0	人	し※①と同数(又 以下)	いまてれ
	4 やや不満			0	人		
	5 大いに不満			0	人		2人
) 参了後の状況(就職等の状況、受講修了: 内でのキャリアアップ成果やその事例、在網				の職	务内容変化等の	処遇改
普切仏沈、一足物 lajr	YCのイヤリナナツノ以来でてい手的、 _{江州}		 守/				
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法 1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の							
11に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の 把握・測定方法 各科目の確認試験課題及びスクーリング時確認試験により把握する							上握する
(通信制講座の場合) ウザリデ 原図を発売しまりがせたゆる							
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場	所、時期、期間·回数	実施場所:長岡介護福時期:7月中旬~9月末					
~ <i>ゆつも</i> 到ウナスも	・4 ヘサ准光がに放フを割束よる吐物なが			JIII CTOTALES			
6. 修了を認定するた	とめの基準並びに修了を認定する時期及び	その方法					
各科目の確認試験に	こおいて60点以上の成績であること及びスク	フーリング科目を出席して	ている	うこと。			

7. 受講中又は修了後	eにおける	受講者に対する指導及で	び助言並びに支援の	の方法			
(1)受講中の者に対す 的な助言・指導の方法	る習得度・	・理解度に関する具体		式験の結果評価表及 ジからの質問受付に		修状況表による	る指導
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)			希望者には、電影	舌又はメールにて情	報提供∙就	職アドバイスを	きする。
8. その他の事項	_						
指定教育訓練実 及び代表者		社会福祉法人長	岡三古老人福祉会		(代表者	名:理事長 田	中 晋)
住所及び連絡	先	長岡市福住1丁目	17番21号		TEL 025	8-31-2620	
施設名称及び施	設長名	長岡介護福祉専	門学校あゆみ		(施設長:	学校長 佐藤	泰主一)
住所及び連絡	5 先	長岡市福住1丁目	17番21号		TEL 025	8-31-2622	
給付制度担当部	署・者	事務局			(担当者:	竹内 敏広)
連絡先		TEL 0258-31-2622	2				
一般教育訓練経費	1. 一般	。 B教育訓練給付金の対象	となる経費 (① +	- (2)		118,000	円
支払い方法	(※割	料 (税 込 額) 引・還元措置を実施した の差引き後の税込額と				0	円
②分割払	(※害	料(税 込 額) 料(税 込 額) 引引・還元措置を実施した の差引き後の税込額と		 (うち、必須教:	₩ 弗	118,000	円)
③両方可能	2. 一般	段教育訓練給付金の対象	外となる経費 (①				円 円
	1	副読本代(税込額)				0	円
	2	実習等に伴う交通費・宿	百泊費(税込額)			0	円
	3	施設維持費(税込額)				0	円
	4	その他(法人への寄付金	金、PCの損害保険料	4、情報誌代)(税	込額)	0	円
	3. 総額	頁(1+2)(税込額)				118,000	円

〔特記事項〕

2025.5.30現在

講座の名称	介護福祉士乳	 実務者研修通	信課程(介護職員	初任者研修	多修了者)	
 実 施 方 法	① 通学 (昼間 · 初	支間・ 土日) ② 通信	スクーリン	グ(回数 10 回)	
指定講座番号(15桁)	1520114		1410062		_ 4	
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(累積	責)(6人)	修了者数 (5人	()
平成21年 4月 1日	令和8年3月31日まで	で				
訓練期間	6ヶ月		総訓練日	時間	342₽	寺間
1. 教育訓練目標						
①取得目標とする資格の	名称、目標レベル	介護福祉	士実務者研修	介護福祉士	:国家試験受験資格	Ž
②①に係る資格・試験等	の実施機関名称	長岡介護	福祉専門学校あり	ゆみ		
③当該資格等を取得する 等	ための要件または受験資材	指定科目	を履修し、各科目	に合格した	者	
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況 介護福祉士国家試験の受験資格取得福祉業界 介護業務では必要な資格						
2. 教育訓練の内容	7	•				
教 科	(カリキュラム)		時間	包	長用 教 材 名	
 人間と社会の領域 社	:会の理解Ⅱ		30時間		人間の尊厳と自立 社会の理解 I・Ⅱ	
介護の領域 基本介護	隻Ⅱ		20時間	第2巻 1	介護の基本Ⅰ・Ⅱ	
介護の領域 コミュニグ	テーション技術		20時間	第3巻 =	ミュニケーション技	を術
介護の領域 介護過程	呈Ⅱ		25時間	笠5类 4	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅱ	т
介護の領域 介護過程	呈Ⅲ(スク―リング)		45時間	あり合う	71 6支地作:	1
こころとからだのしくみの	つ領域 発達と老化の理解	l I	10時間	第6巻 李	発達と老化の	
こころとからだのしくみの	D領域 発達と老化の理解	≟ II	20時間		理解 I •	
こころとからだのしくみの	D領域 認知症の理解 I		20時間	/1	認知症の理解 I・	П
こころとからだのしくみの)領域 障害の理解Ⅱ		20時間	第7巻『	章害の理解Ⅰ・Ⅱ	
こころとからだのしくみの	り領域 こころとからだのし	<i>くみ</i> Ⅱ	60時間	第8巻 ここ	ころとからだのしくみ I	• 11
こころとからだのしくみの)領域 医療的ケア(スク-	ーリング)	72時間		護職員等による喀 管栄養研修テキス	
3. 受講者となるた	めの要件(この講座を受	講するために	必要とされている	条件など)		
①受講するに当たって必	要な実務経験等	務経験は問	っない つない			
②受講者が受講に最低N 技能・知識等の内容及び		に問わない				
③その他						

4. 教育訓練の受講の	の実績及び目標達成の状況						
(1)資格取得状況							
① 前年度内の受講修	5了者数	5	人				
② ①のうち目標資格の	の受験者数	5	人	受験率(2)/	1)	100.0	%
③ ②のうち合格者数		5	人	合格率(③/	2)	100.0	%
④ 上記②・③の回答	者数	5	人		=		
(2)受講修了者による	講座の評価等						
① 回答者総数				5	人		
	1 正社員			4	人	7	· · · · - · = I
② 受講開始時の就	2 非正社員、派遣社員			1	人	(2)A:駅	忧業者計
業状況等	3 その他の就業(自営業等)			0	人]	5人
	4 非就業			0	人	②B:非勍	 尤業者計
	1 受講開始時の就業先と現在の就業先	 :は同じ		5	人	③の回答数:	
③ 受講開始前と現 在の就業先の変化	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自	営業等含む)は異なる(転職)	0	人	※②Aと同数(れ以下)	
住の帆未元の友 に	3 受講開始時は就業していたが、現在に	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない					
	1 正社員			4	人	j	
④ 受講後の就業形	2 非正社員、派遣社員			1	人	(4)A: 叔	就業者計
受講伎の別未形態	3 その他の就業(自営業等)			0	人]	5人
	4 非就業者			0	人	L ④B∶非勍	 优業者計
	1 3割以上増加した			0	人	٦	
	2 1割以上3割未満増加した			1	人		
	3 1割未満増加した			1	人	⑤の回答数	
⑤ 受講後の賃金変	4 変わらない					※④Aと同数 れ以下)	
化	5 1割未満減少した		-+	0	人人	10001/	
	6 1割以上3割未満減少した		$\overline{}$	0	人		
	7 3割以上減少した			0	人]	5人
	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等	 :)に役立つ		5	人]	
	2 配置転換等により希望の業務に従事			0	<u>人</u>		
	3 社内外の評価が高まる	1	人				
	4 早期に転職・再就職できる	1	人	(വേ	か粉合計		
⑥ 講座の受講の効	5 希望の職種・業界に転職・再就職でき	 る	-+	0	人	⑥の回答 -	\$ 数 口 ē i
果	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職		-+	2	人		
	7 趣味・教養に役立つ			2	人		
	8 その他の効果			0	人		
							11人
	1 受講中又は受講修了後3か月以内に		-	0	人人	<u></u>	
⑦ 受講開始時に就	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	***************************************	\rightarrow	0		⑦の回答数 ※②Bと同数	
業していなかった受 - 講者の就業状況	3 受講修了後6~12か月以内に就職した		\longrightarrow	0		れ以下)	
再 自 の 汎 未 仏 ル	4 就職していない	<u>-</u>		0	<u>\</u>		0人
			+	4		┤ └──	
	- 八多個化 2 おおむね満足			0	<u>人</u>	⑧の回答数:	合計
8 講座の全体評価	3 どちらとも言えない		\longrightarrow	1		※①と同数(又 以下)	
の 時年シンエ トエーガ	4 やや不満			0		以下/	
	5 大いに不満			0			5人
)修了後の状況(就職等の状況、受講修了:			状況、受講後	の職者		
善の状況、一定期間内	内でのキャリアアップ成果やその事例、在新	≦・採用企業の側の評	<u>価等</u>)	<u> </u>			
5. 教育訓練の受講に	こよる効果の把握及び測定の方法並びにそ	のレベルを受講者に	対して	明らかにするだ	こめの	具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目 把握・測定方法	標に対する技能・知識のレベル到達度の	各科目の確認試験	======================================	パマカーリンノ	ゲモな	====================================	温まる
		台谷日の唯心吗吗	沐迟火	.ひヘソー・ノン /	/ P可 H庄	記記の	がある
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場	远 呋铂 铂钨•同数	実施場所:長岡介護			み		
<u> </u>	判、时期、判旧 ⁻ □ 双	時期:7月中旬~9月	末日(の間で10日間 			
6. 修了を認定するた	-めの基準並びに修了を認定する時期及び	その方法					
			·				
各科目の確認試験に	こおいて60点以上の成績であること及びスク	'一リング科目を出席し	している	らこと。			

7. 受講中又は修了後	後における	受講者に対する指導及で	び助言並びに支援 <i>の</i>	D方法			
(1)受講中の者に対す 的な助言・指導の方法	る習得度・	理解度に関する具体		式験の結果評価表及 ジからの質問受付に		修状況表によ	る指導
(2)受講中又は修了時 体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報 提供方法、早期就職に 状況)	リ 最や資格関]連職種の求人情報の	希望者には、電話	5又はメールにて情幸	促提供・ 就	職アドバイスを	をする。
8. その他の事項							
指 定 教 育 訓 練 実 及 び 代 表 者		社会福祉法人長	岡三古老人福祉会		(代表者:	名:理事長 田	中 晋)
住所及び連絡	先	長岡市福住1丁目	7番21号	7	TEL 025	8-31-2620	
施設名称及び施	設長名	長岡介護福祉専	門学校あゆみ		(施設長:	学校長 佐藤	篆 主一)
住所及び連絡	§ 先	長岡市福住1丁目	7番21号	7	TEL 025	8-31-2622	
給付制度担当部	署・者	事務局		((担当者:	竹内 敏広)
連絡先		TEL 0258-31-2622	2				
一般教育訓練経費	1. 一般	数育訓練給付金の対象	となる経費 (① +	2)		120,000	円
支払い方法		料(税込額)	担人には				
①一括払		引・還元措置を実施した ・の差引き後の税込額と [・]				0	円
		料(税込額)	担入には			120,000	円
②分割払		引・還元措置を実施した ・の差引き後の税込額と		(うち、必須教材	才費	0	円)
③両方可能	2. 一般	数育訓練給付金の対象	外となる経費(①	+ 2 + 3 + 4)		0	円
	1	副読本代(税込額)				0	円
	2	実習等に伴う交通費・宿	『泊費(税込額)			0	円
	3	施設維持費(稅込額)				0	円
	4	その他(法人への寄付金	を、PCの損害保険料	斗、情報誌代)(税记	L 額)	0	円
	3. 総額	[(1+2)(税込額)				120,000	田

〔特記事項〕